

働く
×
学ぶ
×
貢献する
×
生きる

学生が、自らのキャリアを創造するプログラム Seijo Career Program(SCP)

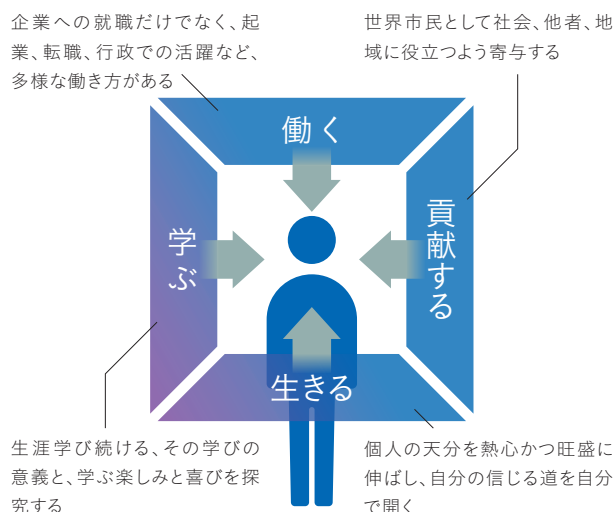
2025年度より新キャリアデザイン科目がスタート！

成城学園は創立以来、「独立独行」の人材育成を目指し、個性を育む教育を実践してきました。グローバル化が加速する現代において、変化に柔軟に対応し、自ら未来を切り拓いていく人材を輩出しています。そして今、わたしたちの働く環境や人生において、これまでの画一的なモデルはもはや通用せず、一人ひとりが主体的にキャリアを創造していくことが求められています。

そこで成城大学では、卒業後の就職にとどまらず、生涯にわたる自律的なライフ・キャリアの構築を支援するため、新たなキャリア教育が必要だと考えました。新キャリアデザイン科目・Seijo Career Program(SCP)は、「働く×学ぶ×貢献する×生きる」をコンセプトに、自己理解と多様な人々との関わりを通して、学生の主体的なキャリア構築を促します。激動の時代を生き抜くために、学生が自らのキャリアを創造する、それが成城大学のキャリア教育です。

“働く”だけがキャリアじゃない！

—SEIJOのライフ・キャリア—



カリキュラムの特色

1/ 個性を伸ばすプログラム

成城学園の建学の精神に基づき、3つのポリシー（ディプロマ、カリキュラム、アドミッション）を念頭に構成しています。

2/ 専門科目との関連性

キャリアデザイン科目は、単独のカリキュラムとしてではなく、専門科目と関連づけて学ぶことができます。

3/ キャリア支援と連携

キャリアセンターが提供するキャリア支援と連携しており、学んだことを就職活動にも活かすことが可能です。

4/ 現場を体験する学び

様々な分野の実務家教員から学ぶことができ、社会や企業の現場の実際を知ることができます。

プログラムの全体像

キャリアデザイン科目は5つのカテゴリで構成。これらを組み合わせて履修することで、生涯を通して自律的にライフ・キャリアを構築していきます。



体系的な学びでライフ・キャリアを創る

【キャリアデザイン科目群】

自らのキャリアを構築するためには自身を“開発”するだけでなく、他者や社会との相互作用により“開拓”、“構築”、新たに“創造”することが必要です。そのための5つのカテゴリに分けた科目群を用意しています。

BASIC

自分を見つめ直し、
他者や社会との
関わりについて考えます。
また、現場を体験し
キャリアを構築していきます。

ADVANCE

実務家教員による講義や
フィールドワークなどの
実践的な学びを経て
職業観や人生観を養います。

自己と他者

目標 キャリア形成の基礎力
(自己探求・自己表現・関係構築)
の涵養

わたしたちは常に他者と関わりながら毎日を過ごしています。コミュニケーションの基本を、理論で学び、対話やグループワークを通して体得します。

科目 ● キャリア・ベーシックI<自己探求>
● キャリア・ベーシックII<自己表現>
● キャリア・ベーシックIII<関係構築>



【科目例】キャリア・ベーシックI<自己探求>
ジャーナリング*1とストーリーテリング*2で自分と他者を知り、「どう生きたいか」を探究します。

*1 言語化し書き出す *2 人生を物語る

他者と社会

目標 社会との実践的な関わり・
チーム活動を通じた
自己の力・特性の発揮

キャリアは個人の自己実現だけでなく他者や社会への影響を考える時代。社会や企業と関わりながらチームビルディングとリーダーシップを体得します。

科目 ● キャリア・プラクティスI<ホスピタリティ>
● キャリア・プラクティスII<社会起業と社内起業>
● キャリア・プラクティスIII<ソーシャルデザイン>
● キャリア・プラクティスIV<サステナビリティ>
● キャリア・プラクティスV<ウェルビーイング>
● キャリア・プラクティスVI<多様性と社会正義>



【科目例】キャリア・プラクティスIV<サステナビリティ>
小田急電鉄との連携科目。持続可能な未来をデザインするための学びです。

現場と体験

目標 国内外の企業・自治体・事業団等の
現場での体験的学習を通じての
キャリア構築

働く目的、働く意味、そして社会の実際を国内・海外の現場で体験することにより、仕事や企業・社会への理解を深めます。

科目 ● キャリア・エクスペリエンス<国内・海外>



【科目例】キャリア・エクスペリエンス<国内・海外>
国内外の現場で体験しながら学び、仕事や企業・社会への理解を深めます。

仕事と社会

目標 仕事に携わり業務を遂行
していくうえで必要な知識、
職業観・職業意識等の獲得

働くうえで重要な考え方を、社会の一線で活躍している諸先輩よりビジネス、社会、福祉、環境、政策といった視点で学びます。

科目 ● ワーク・キャリアI<社会・福祉>
● ワーク・キャリアII<環境・政策>
● ワーク・キャリアIII<ビジネス・業界>



【科目例】ワーク・キャリアI<社会・福祉>
ホームレスや生活困窮などの社会問題に対し、実践を通じて解決策を考えます。

人生の役割

目標 ライフステージ全般において
ベースとなる生活・学び・貢献など
への理解の深化

「働く×学ぶ×貢献する×生きる」をキーワードに、いかに生きるかを、企業の事例や国の施策、社会の現場でのフィールドワークを通して体得します。

科目 ● ライフ・キャリアI<働く>
● ライフ・キャリアII<学ぶ>
● ライフ・キャリアIII<貢献>



【科目例】ライフ・キャリアIII<貢献>
現場での実践から、人に必要とされ役に立つことの意義、喜びと生きがいについて学びます。

自分らしいキャリアを創造できる科目群

本プログラムでは、学生が各自の関心や進路に合わせて科目を選択し、自ら学びとキャリアを創造していきます。

キャリア・ベーシックⅠ～Ⅲでは、自己と他者を理解し、キャリア・プラクティスⅠ～Ⅵでは、社会との関わり方を学び、キャリア・エクスペリエンスでは現場での実践的な経験を積みます。ワーク・キャリアⅠ～Ⅲとライフ・キャリアⅠ～Ⅲでは、実務家教員による講義やフィールドワークを通して、仕事や人生に対する理解を深めます。

授 業 科 目 名		授 業 内 容	年 次
B A S I C	自己と他者	キャリア・ベーシックⅠ〈自己探究〉	1～4 年次
		キャリア・ベーシックⅡ〈自己表現〉	
		キャリア・ベーシックⅢ〈関係構築〉	
	他者と社会	キャリア・プラクティスⅠ〈ホスピタリティ〉	1～4 年次
		キャリア・プラクティスⅡ〈社会起業と社内起業〉	
		キャリア・プラクティスⅢ〈ソーシャルデザイン〉	
		キャリア・プラクティスⅣ〈サステナビリティ〉	
		キャリア・プラクティスⅤ〈ウェルビーイング〉	
		キャリア・プラクティスⅥ〈多様性と社会正義〉	
	現場と体験	キャリア・エクスペリエンス〈国内・海外〉	1～4 年次
A D V A N C E	仕事と社会	ワーク・キャリアⅠ〈社会・福祉〉	2～4 年次
		ワーク・キャリアⅡ〈環境・政策〉	
		ワーク・キャリアⅢ〈ビジネス・業界〉	
	人生の役割	ライフ・キャリアⅠ〈働く〉	2～4 年次
		ライフ・キャリアⅡ〈学ぶ〉	
		ライフ・キャリアⅢ〈貢献〉	

やりたい！にあわせて科目を組み立てる

【履修モデル】

働く姿や将来をイメージしたときに、どのような科目を履修すれば良いのか、その一例をご紹介します。

グローバル人材として
活躍し、社会を
よりよくしたい！



- キャリア・ベーシックII〈自己表現〉
- キャリア・プラクティスII〈社会起業と社内起業〉
- キャリア・プラクティスIV〈サステナビリティ〉
- ワーク・キャリアIII〈ビジネス・業界〉
- ライフ・キャリアI〈働く〉
- キャリア・エクスペリエンス〈国内・海外〉

語学力や専門知識だけでなく、多様な価値観を受け入れる柔軟性を身につけ、変化を恐れずに、自ら考え、行動できるようになります。

社会課題解決型企業で
新しい仕組みをつくり
社会を変革したい！



- キャリア・ベーシックIII〈関係構築〉
- キャリア・プラクティスIII〈ソーシャルデザイン〉
- キャリア・プラクティスVI〈多様性と社会正義〉
- ワーク・キャリアII〈環境・政策〉
- ライフ・キャリアII〈学ぶ〉

社会課題への深い理解はもちろん、多様なステークホルダー（利害関係者）との協調関係を築く心構えや、変化に対応するために学ぶ続ける姿勢を身につけます。

相手の立場を考えられて、
他者の幸せと欲びに
貢献したい！



- キャリア・ベーシックI〈自己探究〉
- キャリア・プラクティスI〈ホスピタリティ〉
- キャリア・プラクティスV〈ウェルビーイング〉
- ワーク・キャリアI〈社会・福祉〉
- ライフ・キャリアIII〈貢献〉
- キャリア・エクスペリエンス〈国内・海外〉

授業を通じて、相手の気持ちを理解する大切さや、他者の立場に寄り添う力を養います。その結果、相手のニーズに応じた適切なサポートを考え、実践できる力を身につけます。

あなたの成長をカタチにする

【サーティフィケート*の認定】

所定のキャリアデザイン科目を履修し単位を修得した学生には、サーティフィケートベーシック、サーティフィケートアドバンスのオープンバッジを授与し自らの実績を形にしていきます。

1/ 就職活動でアピールポイントとなる

本サーティフィケートはキャリアデザイン科目における専門知識やスキルの客観的な証明となります。履歴書に記載することで、就職活動でのアピールポイントとなります。

2/ 目標設定でモチベーションを高める

サーティフィケートの取得を目標とすることで、自らの学習意欲を高めることができます。まずはベーシックの取得を目指し、さらにアドバンスを目指しましょう。

* サーティフィケート…所定の要件を満たした学生に与えられる修了証。ベーシックとアドバンスの2種類があり、各々所定の科目を修了（単位を修得）することで、スキルや知識を習得した証として授与します。



〈参考〉

2024年度まで授与していた就業力ディプロマオープンバッジ、EMSオープンバッジ。

サーティフィケートを目指すには？

サーティフィケートの認定を目指す場合は、次のとおり定められた授業科目の単位修得が必要となります。

サーティフィケートベーシック

- キャリア・ベーシックI～IIIから1科目
- キャリア・プラクティスI～VI／キャリア・エクスペリエンスから1科目

サーティフィケートアドバンス

- サーティフィケートベーシック取得要件
+
- ワーク・キャリアI～IIIから1科目
- ライフ・キャリアI～IIIから1科目